

平成29年8月21日

あやべ市民新聞(4面)に掲載されました

# 売上高は前年同期比17・6%増

## 第2四半期決算短信発表

### 日東精工

東証一部 上場の日東精工(本社・井倉町、材木正己社長)はこのほど、平成29年12月期第2四半期決算短信(連結)を発表した。6月中間期は売上高146億2500万円(前年同期比17・6%増)で、営業利益は13億7200万円(同6・3%減)、経常利益は14億4300万円(同4・5%減)、四半期純利益は8億2100万円(同5・6%減)となった。

【産機】国内外とも設備市況が好調に推移。昨年度の大型受注の反動はあるものの、積極的な営業展開による海外での事業拡大に努めた。売上高は31億3400万円(同9・0%減)、営業利益は7億3700万円(同25・2%減)だった。

【制御】流量計が造船業界で低迷。地盤調査機は好調さを維持し、新製品の市場への投入などを行った。売上高は9億7100万円(同6・3%減)、営業利益は6800万円(同4・2%増)だった。

同社では12月期までの通期の連結業績予想を、売上高300億円▽営業利益27億円▽経常利益28億3千万円▽親会社株主に帰属する当期純利益16億円▽1株当たりの当期純利益42円34銭として発表している。